



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 日本精線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5659 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新貝 元

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一

TEL 06-6222-5432

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,203	13.7	760	65.2	794	64.2	558	64.0
2019年3月期第2四半期	19,941	7.2	2,184	1.5	2,222	1.0	1,553	0.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 527百万円 ( 66.7%) 2019年3月期第2四半期 1,581百万円 ( 5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	91.10	
2019年3月期第2四半期	253.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,042	30,873	72.5
2019年3月期	42,227	30,467	71.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,497百万円 2019年3月期 30,209百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		70.00		60.00	130.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.7	1,800	49.4	1,800	51.0	1,250	52.6	203.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,492,293 株	2019年3月期	6,492,293 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	358,552 株	2019年3月期	358,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,133,760 株	2019年3月期2Q	6,133,857 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、10月の消費増税を控え、内需を中心とした個人消費は底堅く推移しましたが、第3四半期以降、増税による鈍化が懸念される状況となっています。企業活動としましては、堅調だった非製造業が陰りを見せ始めており、製造業は依然として在庫の高止まりや輸出の不振などにより、力強さを欠く展開が続いています。また世界経済については、米中貿易摩擦をめぐる中国経済の減速と米国・欧州経済の停滞、更には中東情勢の緊迫化など、景気の先行き不透明感が強い状況となっています。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）が属するステンレス鋼線業界は、前期後半から続く需要の減退で、業界出荷数量は前年同期比減少となりました。LMEニッケル価格については、インドネシアでニッケル鉱石の禁輸を前倒しするといった見方が広がり、9月にはポンド当たり8ドル超まで急騰するという局面が見られました。

このような状況の中、当社グループでは連結経常利益55億円、連結ROA及び同ROA10%以上などを経営目標とする『第14次中期計画（NSR20）』（最終年度2021年3月期）の達成に向け、収益の向上に取り組んでまいりました。

主力のステンレス鋼線部門は、スマホなどIT関連をはじめとする高機能・独自製品が需要減と在庫調整などにより低迷しています。またステンレス鋼線市場全体の需要動向も減少傾向が続いており、減産を余儀なくされました。販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は前年同期比9.8%の減収となりました。

金属繊維部門では、ナスロンフィルターはポリエステルフィルム用途がわずかに増収となったものの、化合繊維や高機能樹脂用途などが低調であり減収となりました。また超精密ガスフィルター（ナスクリン）は、半導体製造装置・機器メーカーの設備投資の中止・延期に加え、第2四半期には終了すると予測した在庫調整が進まず、大幅な減収となりました。その結果、金属繊維部門の売上高は前年同期比31.0%の減収となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13.7%減収の172億3百万円となりました。損益につきましては、ステンレス鋼線全般、超精密ガスフィルター（ナスクリン）が振るわず、営業利益7億60百万円（前年同期比65.2%減）、経常利益7億94百万円（同64.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億58百万円（同64.0%減）と前年同期比大幅減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、420億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少しました。流動資産は260億33百万円となり、2億14百万円減少しました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少（4億82百万円）などです。固定資産は160億9百万円となり、29百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、111億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億91百万円減少しました。流動負債は66億79百万円となり、6億91百万円減少しました。主な要因は未払法人税等の減少（1億98百万円）などです。固定負債は44億89百万円となり、1億円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、308億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額2億89百万円と合わせて、113億72百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ4億85百万円増加し14億88百万円の収入となりました。これは、主に法人税等の支払額の減少によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ8億65百万円支出が減少し11億7百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ27百万円支出が減少し5億19百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね2019年9月27日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」の予想どおりに推移しており、業績予想に変更はございません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,338	11,508
受取手形及び売掛金	7,968	7,486
商品及び製品	2,274	2,268
仕掛品	3,099	3,079
原材料及び貯蔵品	1,441	1,519
その他	125	170
流動資産合計	26,247	26,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,595	4,592
機械装置及び運搬具(純額)	6,004	5,954
土地	1,595	1,628
リース資産(純額)	12	10
建設仮勘定	404	808
その他(純額)	566	579
有形固定資産合計	13,178	13,575
無形固定資産	362	333
投資その他の資産	2,438	2,100
固定資産合計	15,979	16,009
資産合計	42,227	42,042
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,651	4,486
短期借入金	563	409
未払法人税等	492	294
賞与引当金	663	683
役員賞与引当金	29	-
その他	970	804
流動負債合計	7,370	6,679
固定負債		
役員退職慰労引当金	44	40
退職給付に係る負債	4,321	4,427
その他	22	21
固定負債合計	4,388	4,489
負債合計	11,759	11,168

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,442	5,442
利益剰余金	20,663	20,954
自己株式	△847	△847
株主資本合計	30,259	30,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	21
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	169	123
退職給付に係る調整累計額	△245	△196
その他の包括利益累計額合計	△49	△51
非支配株主持分	257	376
純資産合計	30,467	30,873
負債純資産合計	42,227	42,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,941	17,203
売上原価	16,103	14,797
売上総利益	3,837	2,405
販売費及び一般管理費	1,653	1,644
営業利益	2,184	760
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	7	6
仕入割引	10	8
受取補償金	7	18
為替差益	39	19
その他	6	6
営業外収益合計	74	65
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	10	8
支払補償費	2	12
固定資産除却損	16	4
その他	2	2
営業外費用合計	36	31
経常利益	2,222	794
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	28	-
特別利益合計	28	0
特別損失		
投資有価証券売却損	27	-
特別損失合計	27	-
税金等調整前四半期純利益	2,223	794
法人税、住民税及び事業税	726	235
法人税等調整額	△65	△19
法人税等合計	661	216
四半期純利益	1,562	578
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,553	558



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,562	578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△5
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△41	△94
退職給付に係る調整額	47	48
その他の包括利益合計	19	△50
四半期包括利益	1,581	527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,577	516
非支配株主に係る四半期包括利益	4	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,223	794
減価償却費	618	679
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	208	177
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30	△29
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△19	-
受取利息及び受取配当金	△9	△12
支払利息	3	3
為替差損益 (△は益)	△33	△17
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	16	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	27	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△28	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△542	601
前受金の増減額 (△は減少)	32	△9
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△630	16
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4	△32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18	△241
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13	81
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7	△119
その他	△0	△1
小計	1,854	1,907
利息及び配当金の受取額	9	12
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額	△857	△427
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,002	1,488
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△84	△102
定期預金の払戻による収入	-	100
有形固定資産の取得による支出	△1,892	△1,076
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△30	△27
投資有価証券の売却による収入	35	-
関係会社株式の売却による収入	34	-
その他	△35	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,972	△1,107
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	22	△10
長期借入金の返済による支出	△140	△140
リース債務の返済による支出	△0	△1
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△428	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546	△519
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,494	△150
現金及び現金同等物の期首残高	13,013	11,233
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	289
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,518	11,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。